



体育祭

“団結”を体現した2025年度体育祭

2025年度体育祭実行委員会 委員長

理工学部 機械システム工学科3年 堀 龍矢

今年度の体育祭は、5月8日(木)・9日(金)の2日間にわたり開催されました。今回のテーマは“団結”です。競技を通じて、学科やチーム内での団結を深めることを目的としていました。昨年に続き、今年も無事に開催できたことを大変嬉しく思います。

今年の体育祭では、世田谷、横浜キャンパスともに空調設備が整ったため、熱中症予防の観点から一年生の学科対抗戦を室内で実施することになり、新たな種目として導入されたモルックは、多くの学生にとって初めて触れるスポーツでしたが、ルールがシンプルで分かりやすく、学生から好評を得ました。初心者も多く参加していましたが、チームで協力しながら楽しむ姿が印象的でした。しかし、世田谷キャンパスの二日目の卓球と横浜キャンパスの一日目のポッチャは、残念ながら参加人数の関係で中止となってしまいました。中止を残念に思った学生もいたと思いますが、その分、参加可能な競技に熱意を持って取り組む姿が印象的でした。

今年の体育祭で特に注目すべき点は、学科や学年を超えたチーム編成が積極的に行われたことと、運営スタッフ間でのコミュニ

ケーションが非常に円滑だったことです。サークルや研究室など、所属の枠を超えてチームが組まれ、普段は接点の少ない学生同士が協力し合うことで、体育祭を通じた新たなつながりが多く生まれました。また、運営においても、事前の打ち合わせや当日の連携がしっかりと取られており、進行がスムーズだったことは、体育祭全体の成功を支えた大きな要因となりました。

さらに、教職員の皆さんも競技に参加し、学生との交流を深める貴重な機会となりました。こうした取り組みを通じて、大学全体が一体となる場面が多く見られたことは、今年の体育祭を象徴する出来事だったといえるでしょう。

体育祭は、競技だけでなく、運営や広報にも力を入れたことで、多くの学生が積極的に参加してくれるイベントとなりました。大きな怪我もなく、無事に体育祭を終えることができ、テーマである“団結”を象徴するイベントになったことを嬉しく思います。

最後になりますが、体育祭にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

後援会員の皆様には、日頃より本学学生の教育および課外活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

後援会では、本会誌の発行をはじめ、課外活動支援、就職活動支援、学生表彰、キャリア形成の援助、さらには朝活応援企画「100円朝食」への補助など、多方面にわたり学生の充実した大学生活を力強く支えています。

昨年度は台風の影響により中止を余儀なくされた都市もございましたが、今年度も「保証人対象 大学との連絡会」を全国の主要都市において開催いたします。各地で開催される連絡会を通じて、多くの保証人の皆様から寄せられる貴重なご意見やご要望に耳を傾けながら、今後のより良い学生支援の実現に向けて一層努力を重ねてまいります。

事務局だより

また、大学祭は完全対面形式で開催され、学生たちの生き生きとした姿と活気がキャンパスに戻ってまいりました。課外活動もますます活発になってきております。

後援会は今後も、すべての学生が安心して学び、成長できる環境づくりを、大学と連携しながら進めてまいります。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

学生部長(後援会事務局) 共通教育部 人文・社会科学系
体育教育部 教授
久保 哲也

